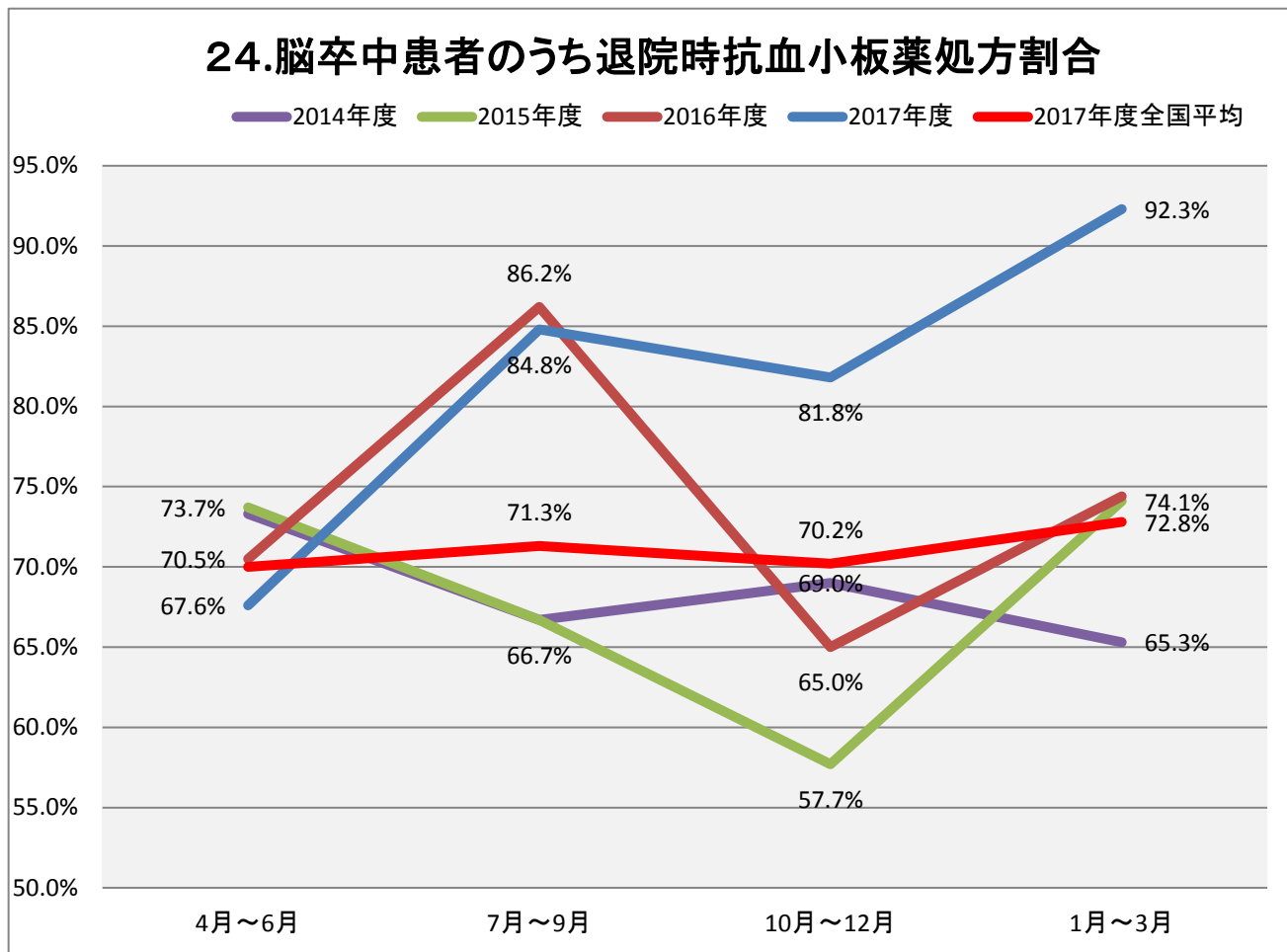


24.脳卒中患者のうち退院時抗血小板薬処方割合

(1)調査結果



調査期間	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
2017年度	67.6%	84.8%	81.8%	92.3%
2016年度	70.5%	86.2%	65.0%	74.4%
2015年度	73.7%	66.7%	57.7%	74.1%
2014年度	73.3%	66.7%	69.0%	65.3%
2017年度全国平均	70.0%	71.3%	70.2%	72.8%

(2)指標の説明

非心原性脳梗塞(アテローム血栓性脳梗塞、ラクナ梗塞など)や非心原性一過性脳虚血発作(TIA)では、再発予防のために抗血小板薬の投与が推奨されています(脳卒中治療ガイドライン2015)。したがって、適応のある患者さんには抗血小板薬の投与が開始されていることが望まれます。

(3)定義

分子:分母のうち、退院時に抗血小板薬を処方された患者数
分母:脳梗塞かTIAと診断された18歳以上の入院患者数

(4)考察

当院では、適応のある患者さんに早期投与できるよう体制をさらに強化し、高い投与率になるよう努めています。
今後も継続していきたいと考えています。